

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子どもの理解と援助			17412	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
浅田 裕子	選択	1	公立保育所保育士 私立こども園保育アドバイザー			

授業の到達目標

保育実践において、子ども一人一人の発達や学びを把握することの意義について理解する。子どもが、生活や遊びの中で、何を体験し学んでいくのか、子どもを理解するための基本的な考え方を学ぶ。合わせて子どもの心身の発達や保育実践について学ぶと共に保育における発達援助の基本について理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

授業の概要

子どもの発達と学びをとらえ、子どもを理解する際に必要となる様々な視点や方法について、具体的な事例や演習を通して学び、考察する。また特別な配慮を要する子どもへの援助や保幼小の接続、保護者支援など、子どもをめぐる課題についても理解を深めるようにする。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 子どもの発達と保育実践① 子ども理解における発達の把握
- 3 子どもの発達と保育実践② 保育者のかかわりと子どもの発達
- 4 生活や遊びを通じた学びの過程① 子どもの生活と学び
- 5 生活や遊びを通じた学びの過程② 子供の遊びと学び
- 6 保育における発達援助① 基本的な生活習慣の獲得と発達援助
- 7 保育における発達援助② 特別な配慮を要する子どもへの理解と援助
- 8 まとめ・定期試験

授業の方法

事例を多く取り入れ講義を進める。またグループ討議や意見発表を行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50% 定期試験50%

欠席について

欠席数は成績評価に反映する。

テキスト

必要に応じて、資料を配布する。

参考図書

保育所保育指針解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説、幼稚園教育要領解説（フレーベル館）
子ども理解と保育実践（萌文書林）

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等音楽2			17421	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
南 夏世	選択	2				

授業の到達目標

幼児・児童の豊かな感性と表現を育むために、実践に必要な音楽の基礎的能力を高めることがねらいである。子どもの発達や現代の環境をふまえ、幅広い表現活動が展開できる保育者を目指し、「楽典」「歌唱・弾き歌い」「ピアノ演奏」を軸に、個人の音楽技能を伸ばす。

このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を身につける。

授業の概要

「楽典」については、コード学習に加え、調性やカデンツの学習と演習を重ねる。「歌唱・弾き歌い」については、弾き歌いのレパートリーを増やすとともに、楽曲にふさわしい伴奏型でコード奏ができるように演習する。さらに、「ピアノ演奏」については、各自の進度に応じたピアノ曲を、表情豊かに演奏できるようにピアノ技能を高めていく。その際、各自の目標として定められている曲数を合格しなければならない。

授業計画

- 1 コード復習。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 2 調性とカデンツ。弾き歌いと進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 3 調性とカデンツ。弾き歌いと進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 4 調性とカデンツ。弾き歌いと進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 5 調性とカデンツ。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 6 調性とカデンツ。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 7 調性とカデンツ。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 8 コード伴奏と実演。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 9 弾き歌い演習。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 10 弾き歌い演習。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 11 弾き歌い演習。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 12 こどもの発達と歌唱教材。連弾。
- 13 こどもの発達と歌唱教材。連弾。
- 14 様々な表現活動について。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 15 様々な表現活動について。進度に応じたピアノ個人レッスン。
- 16

授業の方法

前半は音楽の基礎学習と歌唱・弾き歌い等の演習をクラス全体で行

い、後半はピアノの個人レッスンを行う。

準備学修

Webを参照すること

課題・評価方法、その他

- ① 毎時間ピアノレッスンをし、フィールドバックを行う。
- ② 平常点70% 定期試験30%
定期テストは、ピアノ演奏、弾き歌い、筆記の3項目を実施する。授業内で行われる連弾・コード等の小テストは平常点に反映する。
- ③ 個人の進度に応じて与えられた課題を終えなければ定期試験を受けることはできない。

欠席について

欠席回数が評価に大きく関与する。5回を越えると単位修得できない。

テキスト

弾き歌いテキスト「マイレパートリー」（yamaha music media corporation）
ピアノテキスト「大学ピアノ教本」「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネアルバム1」等は各自の進度に応じて使用する。

参考図書

授業内で随時提示する。

留意事項

配布する「個人カード」に各自の進度を記入し、毎回持参すること。これがなければテストを受けられない。
授業の前には、必ず爪を切っておくこと。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワー、またはピアノ補講時間を活用すること。
日時については、教務課前掲示板を確認すること。